

7/14
(金) 「日本一暮らしくなる集落づくり」
上島町魅力化講演会開催

せとうち交流館において、鹿児島県甬島の東シナ海の小さな島ブランド株式会社 代表取締役 山下賢太 様 を講師としてお招きし、『日本一暮らしくなる集落づくり』をテーマにご講演いただき、100名を超える方が参加しました。山下様は、人口わずか約3800人の甬島の出身で、Uターンされた後に取り組んだ耕作放棄地の再生から始まり、豆腐屋やパン屋、宿泊施設等を手掛け、『目の前の人のために自分に何ができるか』『島民のありたい暮らしを「観光」がいかに支えるか』『様々な課題をどのように乗り越えたのか』など、ご自身の実経験をお話いただきました。

講演会に参加された町民の皆様からも、ご講演いただいた取り組みを参考に自分たちも上島町の魅力を発信して盛り上げていきたいとご意見をいただき、上島町の魅力化を考えるきっかけとすることができました。



7/21
(金) 上島町内の小中学校の先生が参加
上島町授業力向上研修会

上島町内の小中学校の先生方が参加して、「クラウド活用による授業改善」について研修を行いました。その中では生成AIの利用に向けた協議やGoogleアプリ等の操作実習などもありました。上島GIGAスクール構想の実現に向けて、有意義な学びの時間となりました。



7/24
(月) 水面に灯り幻想
上弓削地区 灯籠流し

毎年地蔵盆の日に行われている上弓削地区の灯籠流しが行われました。この灯籠流しはこの1年に亡くなられた方、地区に住む方々の先祖を供養するための施餓鬼行事として行われています。住職を先頭に、子どもたちが曳いてきた精霊船「極楽丸」を乗せた船が到着。住職による読経が行われ、集まった地域の方々とともに故人を追悼しました。読経が終わり、地蔵盆おどりを踊り、灯籠を海へと流しました。灯籠の光が海面に反射し、その様子はとても美しく、集まった地域の人たちは思い思いに故人を偲んでいました。



8/1
(火) 上島町児童生徒会議（上島町こどもサミット）

第11回目となる上島町児童生徒会議（子どもサミット）が開催され、上島町の小・中・高校生の代表26名が集まり、いじめ撲滅に向けて、話し合いを行いました。会議の冒頭、弓削中学校から7月7日に岡山県の長島愛生園を訪れた現地研修の報告がありました。次に、いじめをなくすための各校の取組を1人1台端末で共有したり、安心・安全なネット利用についてグループで意見交換したりしました。いじめや差別のないクラスや学校づくりのために、今、自分たちのできることを考えました。



7/12
(水) 岩城小学校で「行政相談出前教室」
行政相談委員が6年生と話し合い

上島町内で、行政に関する苦情や相談を広くお聴きしている行政相談委員（村上政隆さん、中村美智子さん、山下正弘さん、山本詳子さん）4名と総務省愛媛行政監視行政相談センターによる「行政相談出前教室」が岩城小学校で開催されました。行政相談出前教室では、行政相談委員が、6年生20人を対象に、日常生活と行政との関わりや、行政相談による改善事例について紹介した後、児童がグループに分かれて、行政相談委員とともに、通学路など身近なところで困っていることがないかを話し合い、各グループの代表者が意見を発表しました。



7/12
(水) 愛媛県漁業協同組合岩城生名支所・生名保育所
マダイ稚魚放流体験学習

生名地区生名港横の海岸において、生名保育所の園児たちが、マダイの稚魚の放流を体験しました。園児たちは、「元気だね。」「大きくなってね。」と言いながら、大海原に泳いでいくマダイの稚魚を見送りました。この放流は、海域の資源回復および維持、そして環境保護につながり、漁獲量の増加や魚の安定供給が期待されています。



7/12
(水) 弓削高等学校学生寮整備工事
安全祈願祭

弓削中央公民館跡地において、弓削高等学校学生寮整備工事の安全祈願祭が行われました。安全祈願祭には、上村町長をはじめとする町関係者に、上島町議会議員・弓削高校関係者および工事関係者が出席し、工事の安全と速やかな工事進行を祈願しました。

この度建設される学生寮は、町内唯一の県立高校である弓削高等学校の更なる魅力化に向けての施策のひとつで、町外からの入学生の受け入れ態勢を充実させるため整備するもので、令和6年2月末に完成する予定です。



▲完成予想図 弓削高等学校学生寮

